

環境に配慮した取り組み ～ 今年も新東名高速道路でホタル観賞 ～

NEXCO中日本では、「環境・持続可能社会への貢献」の取り組みとして、環境に配慮した取り組みを実施しています。

新東名高速道路（御殿場ジャンクション～三ヶ日ジャンクション）は、自然豊かな区域を通過するため、建設にあたって地域生態系への影響を極力回避・低減し、新たな生育・生育環境を創出することに取り組みました。

工事前にホタルの生息が確認された場所では、自然型護岸によりホタルの餌であるカワニナの生息環境を整備するなど、ホタルの新たな生息・生育環境の創出に努めました。

【藤枝パーキングエリア】

新東名高速道路 藤枝パーキングエリア（下り線）付近は、ホタルが飛び交うパーキングエリアとして整備し、地域のホタルの会や小学校の協力により、ホタルの育成・放流を行いました。今年6月6日～10日に行ったホタル観賞イベントでは、ホタルは毎日飛翔し、多いときには50匹程度が飛び交う姿を観賞できました。



ホタル幼虫の放流会の様子



ホタル飛翔の様子

【浜松いなさジャンクション】

浜松いなさジャンクション付近では、自然型護岸による河川改修や光が漏れない道路照明等の工夫を行い、ホタルの生息・生育環境の創出に努めてきました。さらに、高架橋の下にはビオトープを設置し、今年は100匹程度のホタルが飛び交う姿を確認しました。



橋梁下のビオトープ



観察会の様子



ホタル飛翔の様子

当社は、今後もホタルの生息環境の保全と地域との連携を目標に維持管理を実施し、引き続き『地域環境への配慮』を推進していきます。